

わたなべニュース

2014. 12. 1 vol. 76

発行元：社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部

TEL：0798(74)2630 FAX：0798(74)7257

ホームページ：<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>

西宮渡辺病院 50周年を迎えました



社会医療法人 渡邊高記念会
理事長 佐々木 恭子

昭和40年11月1日、西宮の地に故渡邊高前理事長によって開設された「渡辺病院」をルーツとする私共の法人は、今年50年目の歩みを開始します。平成22年には兵庫県初である「社会医療法人」の許可を頂き、法人名を「渡邊高記念会」と改めました。

前身である「医療法人高明会」の名は、「社会福祉法人高明会」に受け継がれその歩みを続けています。皆様のご支援とご協力に支えられ、無事50周年を迎えられたことは私共の喜びであり、次の一歩への大きな糧であることを確信しております。

現在私共は「西宮渡辺病院」、「西宮渡辺心臓・血管センター」、2つの急性期病院を中心に介護老人保健施設、認知症対応グループホーム等、地域ニーズに対応した様々な医療と介護に関わる事業を展開しています。

「西宮人工関節センター」を併設する西宮渡辺病院では、今年度9月から「地域包括病棟」を開設しました。急性期から在宅に至る途切れることのない医療の展開を行う所存です。

消化器疾患対応の強化も予定しています。西宮渡辺心臓・血管センターは、今日阪神間で唯一の循環器と血管の専門病院として、その名に相応しい働きをするまでに成長しています。

平成22年にはハイブリッド型手術室を、平成24年度には脳神経外科を開設しました。CT装置は今年度中に西日本初導入となるシーメンスの最新モデルに入れ替わる予定です。

ラピッドレスポンスカー、低体温療法導入による「心肺停止」状態への対応も軌道に乗りつつあります。

東京オリンピック開催の翌年、日本中が自信にあふれた時代に産声をあげた私共は常にその時代の要請を見定め、「必要とされる私共」であり続けることを目指してきました。

私共の現在に至る歩みを支えてきたものは初代開設者故渡邊高が生涯持ち続けた地域医療に対する高い志と情熱であり、私共はその継承者です。私共は今、思いを新たに更なる前進を決意しています。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

11月1日に50周年記念式典を開催しました

西宮渡辺病院 法人本部長 三輪寛義

「社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院50周年記念式典」が平成26年11月1日(土)、ノボテル甲子園で開催されました。

まず、西宮渡辺心臓・血管センター 民田副院長から、来年2月に西日本で初めて導入される最先端のCTを使用した話題提供がありました。つづいて、佐々木理事長より、開院以来49年のあゆみの紹介、そして、今後の目指すべき地域医療のあり方についてのお話の後、来賓の方々(末松信介 参議院議員、山田賢司 衆議院議員、守殿貞夫 県病院協会会長、大江与喜子 市医師会会長、太城力良 兵庫医科大学副理事長)からお言葉を頂戴しました。

特別講演は、佐々木理事長の学友でありますHarvard Medical School 外科准教授 河合達郎先生から「米国と日本の医療、そしてTPP」と題し、日米の健康保険制度の違いとTPPの医療への影響についてのご講演がありました。

最後に、佐々木院長がラグビーの経験を通し、「生きたボールを次世代に出す重要性」を話され、式典は閉会となりました。

場所を移した懇親会では、来賓の方々(松永博 市副市長、菌潤 市健康福祉局担当事業兼保健所所長、佐野俊二 岡山大学大学院心臓血管外科教授、難波光義 兵庫医科大学病院院長)のご挨拶の後、吉川最高顧問の乾杯の挨拶、中締め挨拶は高岡顧問からいただき、閉会となりました。

当日は、130名以上のご来賓を含む200名以上のご参加がございました。



出張講座を開催しました！！ in 浜脇公民館

平成26年9月4日に浜脇公民館にて西宮渡辺病院 腹腔鏡センター長 岩田 英之医師が『胃がん・大腸がんのお話し～早期発見から治療まで～』について講演されました。

胃がん・大腸がんは、胃カメラや大腸カメラを使って病気を発見します。治療方法としては、早期であれば内視鏡を使って治療を行います。次に、手術治療ですが腹腔鏡を使って行う方法と開腹して行う方法の2種類があります。近年、より身体への負担が小さい腹腔鏡手術が注目されており、当院でも積極的に取り入れております。最後に、抗がん剤治療や放射線治療がありますが、これらはあくまでも補助的な治療であり、手術の前後に追加して行われることがほとんどです。早期に発見できれば、それだけ治療方法も負担の少ないものになりますので、何か症状が出る前に予防的に検査しておくことをお勧めします。

西宮渡辺病院

インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン予防接種 実施中！

インフルエンザ予防接種

今年もインフルエンザ流行の季節になりました。予防にはワクチンの接種が効果的です。

ワクチンの有効期間は接種約2週間から5ヶ月ですので、10月下旬から12月中旬頃に接種するのが望ましいとされています。

西宮市在住で65歳以上の方のインフルエンザワクチン接種代は、1000円（それ以外の方は3640円）となっております。

肺炎球菌ワクチン予防接種

2014年10月より定期接種がスタート致しました。それに伴い、当院でも肺炎球菌ワクチンの受付を開始しております。

国が定めている定期接種対象者の接種代は、4000円（対象者以外は8640円）となっております。



当院での上記ワクチンの接種は原則予約制となります。

（他市にお住まいの方は接種日までに依頼書の持参が必要ですのでご注意ください）。

インフルエンザに関しては、ワクチンが無くなり次第終了とさせていただきますのでお早めに接種することをおすすめします。詳しくは病院窓口またはお住まいの保健所にお問い合わせ下さい。

【予約・お問い合わせ】

・西宮渡辺病院 0798(74)2630・西宮渡辺心臓・血管センター 0798(36)1880



西宮渡辺病院

新しいMRI装置を導入しました！

西宮渡辺病院 放射線科

当院では、新しいMRI装置『最新ラージボア1.5テスラ超伝導MRI装置』を導入しました。この装置は寝台幅が広く、体格の大きな方の圧迫感や閉所恐怖症の方が感じやすい緊張と不安をできるだけ取り除ける環境になっています。

また、新機種になり、従来より詳しく腱・半月板・靭帯、軟骨が描出可能になっています。今後、この新技術を用いて診断に貢献することが期待されています。

OVAL

ECHELON OVAL



第14回 西宮医師会市民フォーラム ご報告

西宮渡辺病院

西宮人工関節センター長 福岡慎一

平成26年9月20日(土)にJR西宮駅南すぐにある西宮市フレンテホールにて第14回 西宮市医師会市民フォーラムが開催されました。

今回のテーマは『寝たきりにならないために、どうする？その痛み』で、私は『膝の痛み 原因と治療 ~予防から最新手術まで~』について講演しました。

他に西宮協立脳神経外科病院の瀧川先生が『骨折治療と骨粗鬆症』をさかうクリニックの坂上先生が『長引く頑固な痛みとその対処法』について講演されました。

来賓の方の紹介では国会議員やその秘書の方、県議員、市議員などが来られていましたが、ひょっとして昨年には兵庫県議会議員西宮選出のあの野々村元議員も来ていたのかもしれないながら、話を聞いていました。

医師会主催とのこともあり手話と筆談もあり、これらの専門の人たちの速さに感心しながら講演していました。

3人の講演の間には当法人の健康塾のような西宮いきいき体操をしてリフレッシュしたのも会場の人たちには良かったのではないのでしょうか。質疑応答も活発で膝痛の予防、手術に関しての具体的な質問があり、皆さんが興味を持って聞かれていたのかとありがたく、今後の診療につなげたいと思いながらフォーラムを終えました。

第27回

ヘルスケアレストラン ご報告

地域の皆様を対象に、どなたでもご参加いただける楽しく・美味しい食事会です。

今回のテーマは、『脳の活性化～もの忘れ対策～』と題して、食前の体操に加え、美味しい食事、管理栄養士さんによるミニ栄養講座を行いました。

23名の地域の方々にご参加いただきました。

日時：平成26年9月6日(土) 12:30～14:00

場所：西宮渡辺心臓・血管センター5F

多目的ホール・健康塾

料金：1545円(税込)

今回の献立

- ・ご飯 or パン
- ・鶏肉の夏野菜マリネ or 鯖のピリ辛ネギソース夏野菜添え
- ・ひじきと卵のオイスターソース
- ・のっぺい汁柚子風味
- ・杏仁豆腐
- ・ベリーソース
- ・コーヒー or 紅茶



【予約・問い合わせ】健康塾 0798(36)1166

すいすい健康講座 9月・10月開催 ご報告

9月【開催場所：西宮渡辺病院】

9月は西宮渡辺病院 院長 佐々木健陽医師による『スポーツでケガした時はどうするの?』というお話でした。

今回の講座では、「足関節の捻挫」や「アキレス腱断裂」、「高齢者が行うスポーツ」などについてお話しました。なかでも、「スポーツ傷害」に重点を当ててお話しました。

「スポーツ傷害」は外傷・障害の2つに分けられます。「外傷」とは一回の受傷で大きな力によって発症すること指します。「障害」とは同じ動作の繰り返しで一定の部位に力が集中して発症することを示します。初期治療としては「RICE」R:REST「安静にする」、I:ICE「冷却する」、C:COMPRESSION「圧迫する」、E:ELEVATION「挙上」が挙げられます。また、「あれやった」あ:「圧迫」、れ:「冷却」、やっ:「休む」、た:「高く上げる」とも言います。もしスポーツ傷害を受傷したときは、まずこれらを行いましょう。

10月【開催場所：西宮渡辺病院】

10月は西宮渡辺病院 顧問・副院長 箕倉清宏医師による『脳卒中の予防について』というお話でした。

脳卒中は脳の血管に異常をきたし、症状を発現する疾患の総称であります。脳卒中は出血性病変と閉塞性病変（脳梗塞）とに大別されます。つまり、脳の血管が破れるか詰まるかということでもあります。どちらのタイプでも血管の動脈硬化と関係が深く、「脳卒中の予防＝動脈硬化の防止」といっても過言ではありません。動脈硬化が進展すれば血管内腔が詰まり、また血管壁が脆弱となり出血にもつながっていくからです。動脈硬化を高める原因としては 高血圧、脂質異常、糖尿病、喫煙 飲酒などが挙げられています。

近年、肥満がメタボリックシンドロームとして注目されています。これは、肥満により内臓に蓄積された脂肪細胞から悪玉サイトカインが分泌され、高血圧、糖尿病などを惹起、悪化させるということが解明され、結果動脈硬化促進の重要因子であることがわかってきました。『肥満は万病のもと』としっかり認識して、バランスの良い食事と適度な運動に気を付け、適切に悪化因子を管理して脳卒中を防止していきましょう。

すいすい健康講座は、毎月第2水曜日の午後1時から西宮渡辺病院1階待合ホールで開催しています。次回、12月10日(水)は西宮渡辺病院 西宮渡辺心臓・血管センター 副院長 脳神経外科 樋田昌平医師による『脳卒中予防のために大切なこと』です。ぜひお気軽にご参加ください。

西宮人工関節友の会(Club Joint)懇親会

この会は、当院で人工関節手術を受けられた方をはじめ、膝や股関節の痛みにお悩みの方々の集まりです。

年一回のクラブ集会を開催し、最新の医療についてお伝えすると共に、相互交流を図り情報交換等を行えばと思います。同じ悩みを持つ人同士で、あるいは退院後しばらく振りに手術を受けた先生やスタッフとコミュニケーションの機会の場として、皆さまが日常生活の問題を解決され、心豊かな生活が送れますよう微力ながら支援させていただきたいと思っております。

次回の懇親会は、未定です。詳しい日時・内容が決まり次第、お知らせいたしますのでふるってご参加ください。

【お問い合わせ】西宮渡辺病院 医事課 0798-74-2630



看護師募集

西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓・血管センターでは看護師を募集しております。

常勤勤務・パート勤務などご相談に応じます。まずはご連絡下さい。 0798(74)1771 採用担当 松山



関連施設

・社会医療法人 渡邊高記念会

西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓・血管センター / 西宮わたなべ前浜クリニック

ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / グループホームむろかわ / 訪問看護ステーションむろかわ

居宅介護支援センターむろかわ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾

・社会福祉法人 高明会 シルバートピア西宮



わたなベニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集
広報委員会